

広徳寺通信

Letter from Koutokuji Temple 第9号



◆ 雪道がどこまでも続いている。中野通。

先日、函館に観光に来た友人を連れて函館山の夜景を見に行つて参りました。雲が薄くかかっていて、遠くの光までは見えなかったものの、冬で空気が澄んでいたこともあり、街の夜の光は感動をもって友人の胸にふかく刻まれたようでした。

函館山の夜景が美しいのは、ひとつひとつの光が生活の明かりによるからだと思います。居間の明かりや台所の明かり、街灯、車のライト、そこにはネオンの光もなく仕事の残業の光もありません。

私たち一人一人の毎日の生活が夜景となつて観光に来た人の胸を打ちます。



2011年2月



寺こやよりお知らせ



どなたでも！！

寺こや坐禅塾

シンプルなあなたにリセット！！

日時：2月26日（土）

午後4時～5時

（始まる10分前にはお越し下さい。）

参加費：100円

※ 寺こや坐禅塾はどなたでもご参加いただけます。
お気軽にどうぞ！

※ 足を組めない方にはイスをご用意してあります。

ひとくちコラム

凍

てつくような寒さの続いた大寒。今年以降る雪をかく手が休まらないほどの大雪でした。節分を終え立春を迎え、気温も少し緩みましたがまだまだ安心できません。風邪などひかぬよう、どうぞご精進を。

住職



曹洞宗
慈眼山

広徳寺



〒049-0162 北海道北斗市中央 2-3-14

TEL 0138-73-2032 FAX 0138-73-5500

✉ info@jigenzan.org

梅花講よりお知らせ



かんしゅぎょう

寒修行お疲れ様でした！

広徳寺梅花講から6名が参加。1月8日から10日までの3日間、北斗市のお檀家様の家を中心に、一軒一軒の玄関先で「南無本師釈迦如来」とご詠歌をお唱えしお札をお配りして歩きました。

当日はお金をお布施で包んで下さった方もいれば、べこ餅を焼いて待っていていた方、また昼食をご馳走して下さいました。寒の入りで雪の降りしきる悪天候でしたが、温かく出迎えてくださる方々の笑顔とご厚意に支えられ、お陰様で無事終わることが出来ました。ありがとうございました。



寒修行で頂いたお布施の一部は、北斗市社会福祉協議会に寄付いたしました。



毎週土曜日

午後1時半～3時半

詳しくはお寺まで。
お気軽にお尋ねください。



第7回 「お供物について その2」

今回は前回に引き続き、お供物についてのお話。ご法事の際、どんなお供え物を準備したらよいのかをご説明いたします。

ポイントはお供え餅

前回確認しましたように、以下の7つのお供えは忘れずに準備しましょう。

花・お香（線香）・火（ロウソク）
お菓子・果物・お霊供膳
積み団子（一対）

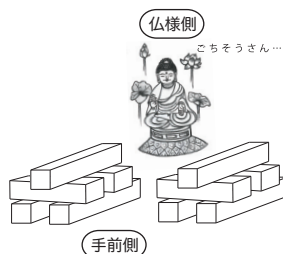
ご法事の際には、これらに加えてお供え餅を上げます。お供え餅の数は、ご供養する仏さんの数に同じ。たとえば、お祖父さんの13回忌をするという場合には、お供え餅は一つ。お祖父さんの13回忌とお祖母さんの17回忌を一緒に行う、といった場合には二つお供えします。お餅の色は白、お正月のような飾り物は必要ありません。

こんなお供え物もあります

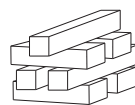
ご法事ではその他に、棧餅・お饅頭、べこ餅（くじら餅）をお供えしてもよいでしょう。

◇ さんもち 棧餅

棧餅は文字通り、棧橋を表したお供え物。ご先祖様が彼岸（おさとのり世界）へと渡ることが出来るように、その渡し橋として棧餅をお供えします。5本あるいは7本を、対でお供えします。



7本の場合



◇ まんじゅう お饅頭

むかしの人にとって、お饅頭は普段口にする事の出来ないものでした。ご先祖様にお饅頭をお供えして最高のごちそうを召し上がってもらいましょう。20個ずつ計40個、対でお供えします。

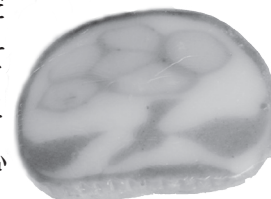
◇ くじら餅（べこ餅）

「くじら」「べこ（牛）」にたとえられるように、お饅頭同様、日常生活で口にする事の出来ないごちそうとしてお供えします。15個くらいずつ、対でお供えします。

心をこめてお供えを

形を通して心を伝えるのがお供え物。最近は、お葬儀屋さんやお菓子屋さんにお問い合わせすれば用意してもらえるお供物ですが、本来は故人を思い自分の手で作り、**自分の手で供えする**ものです。

ひとむかし前は、べこ餅ひとつとっても、人によって描く絵柄にこだわりがあり、人々は競い合ってべこ餅を作りお供えしていました。それは「べこ餅芸術」といっていいほど多種多様だったそうです。すべてが便利な時代だからこそ、お供え物だけは心をこめたいものですね。



◆元梅花講員の古川さんのべこ餅。ピンクと黄色と深緑で美しい花を描きます。

次回予告

第8回

「お供物について その3」

今回は開眼供養のお供え物について見ていきましょう。



「知って納得。仏教の話」では、皆様からのご質問をお待ちしております。